

同等品証明書

高速液体クロマトグラフ質量分析装置

| | | 添付資料 番号 |
|---|--|------------|
| メーカー名 | | |
| 機種名 | 液体クロマトグラフ部 質量分析部 | |
| 全体 | ハロ酢酸の測定について、別紙仕様書の4(1)の要件を満たすこと。 | 適 ・ 不適 |
| | 陰イオン界面活性剤の測定について、別紙仕様書の4(2)の要件を満たすこと。 | 適 ・ 不適 |
| | フェノール類の測定について、別紙仕様書の4(3)の要件を満たすこと。 | 適 ・ 不適 |
| | ホルムアルデヒドの測定について、別紙仕様書の4(4)の要件を満たすこと。 | 適 ・ 不適 |
| | 農薬類の測定について、別紙仕様書の4(5)の要件を満たすこと。 | 適 ・ 不適 |
| | ペルフルオロオクタンズルホン酸(PFOS)およびペルフルオロオクタン酸(PFOA)の測定について、別紙仕様書の4(6)の要件を満たすこと。 | 適 ・ 不適 |
| 液体クロマトグラフ部 | 送液部 | |
| | 送液方式は並列ダブルプランジャー方式であり、接続溶媒数は1台につき4液以上であること。 | 適 ・ 不適 |
| | 高圧対応(最大使用可能圧力70MPa以上)であること。 | 適 ・ 不適 |
| | 流量範囲は0.0001~3mL/minの範囲を含むこと。 | 適 ・ 不適 |
| | オンライン脱気装置を有しており、あらかじめ移動相溶媒を脱気しておく必要がないこと。 | 適 ・ 不適 |
| | 希釈、内標添加、誘導体化反応の自動化機能を有すること。 | 適 ・ 不適 |
| | 注入部 | |
| | 注入量範囲は0.1~50 μ Lの範囲を含むこと。 | 適 ・ 不適 |
| | サンプルニードル洗浄機能を有すること。 | 適 ・ 不適 |
| | 容量1.5~2mLのバイアルを160個以上収納可能であること。 | 適 ・ 不適 |
| サンプルの冷却機能(4℃程度)を有すること。 | 適 ・ 不適 | |
| オーカラム | | |
| 温度制御可能な範囲として、室温程度~100℃を含むこと。 | 適 ・ 不適 | |
| 複数のカラムを同時に接続でき、流路をバルブで切替え可能であること。 | 適 ・ 不適 | |
| 質量分析部を分離した経路(フォトダイオードアレイ検出器)でも分析が可能であること。 | 適 ・ 不適 | |
| ディレイカラムを経由する流路と経由しない流路をバルブで切替え可能であること。 | 適 ・ 不適 | |
| 検出器 | | |
| 波長範囲190~800nmのフォトダイオードアレイ検出器と光源にD2ランプとタングステンランプを有すること。 | 適 ・ 不適 | |
| 質量分析部 | イオン化部 | |
| | イオン化法として、エレクトロスプレーイオン化法(ESI法)および大気圧化学イオン化法(APCI法)に対応すること。また、それぞれのイオン化法において、ポジティブモードとネガティブモードの同時測定が可能であること。 | 適 ・ 不適 |
| | エレクトロスプレーイオン化法においては、最高400℃まで加熱が可能な脱溶媒ガスにより、脱溶媒及びイオン化を促進できる機構を有すること。 | 適 ・ 不適 |
| | 対応可能な流量範囲として0.01~2mL/minの範囲を含むこと。 | 適 ・ 不適 |
| | 質量分析部 | |
| | 四重極が3つ連なったタンデム極であること。 | 適 ・ 不適 |
| | 質量範囲はm/z 2~2000の範囲を含むこと。 | 適 ・ 不適 |
| | スキンスピードは12,000Da/sec以上であること。 | 適 ・ 不適 |
| | フルスキャン、プロダクトイオンスキャン、プリカーサーイオンスキャン、選択イオン測定(SIM)、選択反応測定(SRMあるいはMRM)が可能であること。 | 適 ・ 不適 |
| | Dwell timeは最小1msec以下であること。 | 適 ・ 不適 |
| ポジティブモードとネガティブモードの切替え時間は5msec以下であること。 | 適 ・ 不適 | |
| ESI法におけるMRMポジティブモード分析で、レセルビン1pgの感度がS/N>2,000,000であること | 適 ・ 不適 | |
| クロストーク抑制のため、コリジョンセルにイオン加速機能または同等の機能を有すること。 | 適 ・ 不適 | |
| その他 | | |
| 必要な窒素ガスは窒素ガス発生装置にて供給可能であること。 | 適 ・ 不適 | |
| コリジョンガスが必要な場合は、配管を通じて供給可能であること。 | 適 ・ 不適 | |
| 窒素ガス発生装置 | | |
| 質量分析計が必要とする純度、流量等のガスを供給できること。 | 適 ・ 不適 | |
| システム制御およびソフトウェア | 液体クロマトグラフ部および質量分析部の制御および測定結果の解析ができること。 | 適 ・ 不適 |
| | 定量解析が行えること。 | 適 ・ 不適 |
| | MRM条件の自動最適化機能を有すること。 | 適 ・ 不適 |
| | MRMにおいて、定量用イオンと確認用イオンの面積値等の比率を自動計算し、対象化合物の同定確認ができる機能を有すること。 | 適 ・ 不適 |
| 化合物ごとのスペクトルをライブラリとして保存でき、また、得られたスペクトル等の情報からそのライブラリ内を検索、照合できる機能を有すること。 | 適 ・ 不適 | |

機器の構成および性能については、上記のとおりであることを証明します。

令和 年 月 日

滋賀県企業庁長 様

住 所
(所在地)
商 号
(法人名)
氏 名
(代表者職氏名)